



コロナ禍を乗り越えるため「スマートスクール」構想を進めます

- 前年度3学期の新型コロナ第6波の際に、特に小学校において、自宅待機児童がどんどん増加していく中で、「子どもたちの学びの保障」をどう維持していくのかが大きな課題となっておりました。正直申し上げて、本校の教職員は明らかなオーバーワークの状況でしたが、愚痴のひとつも言わず日々の指導に奮闘してくれておりました。
- そういった経緯もあり、今年度は教職員の業務負担の軽減を何としても実現させていかないと、本当に学校園が倒れてしまいかねないという強い危機感を持っているところです。この年度末から年度始めにかけては、来る新型コロナ第7波への備えも含めた、新しい学校園の体制づくりに注力をしてきたところです。
- 今回、保護者の皆様には、「配布物のペーパーレス化」「体温検査のデジタル化」「学校評価アンケートやPTA総会のオンライン化」など、ICTを活用した新しいさまざまな変容をお願いさせていただきました。こちらからの急なご依頼に、戸惑われた方も多かったのではないかと思われますが、本当にスムーズにご対応をさせていただくことができいております。皆様には、改めて感謝を申し上げます。
- 旧来、家庭と学校とは紙媒体を通じての連絡や連携をとらせていただいていたわけですが、新時代での家庭と学校との連絡や連携は、表題の「スマートスクール」構想にもありますように、デジタルツールを活用したものに置き換わっていくように考えております。
- 各家庭や保護者の皆様には、一定の手間やスキルをお願いすることにもなり申し訳ない気持ちも大きいのですが、学校園の本来の目的である「子どもたちの学びをしっかりと保障していく」ことの実現のためにも、私たちが進めている学校園の「スマートスクール」構想に、皆様のご理解とご協力を賜りたいと思っております。
- なお、皆様がこれらの取り組みをどのようにお感じになっておられるのかも、たいへん気になっているところです。また機会などがございましたら、お感じになっていることをお伝えいただければ幸いです。